

|                                                                                                                                               |                              |             |                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------|------------------------|
| 授業科目名：<br>特別ニーズ教育総論                                                                                                                           | 教員の免許状取得のための<br>必修科目         | 単位数：<br>2単位 | 担当教員名：<br>津島 靖子、山本 多佳実 |
|                                                                                                                                               |                              |             | 担当形態：<br>オムニバス         |
| 科 目                                                                                                                                           | 教育の基礎的理解に関する科目               |             |                        |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                         | ・ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 |             |                        |
| 授業のテーマ及び到達目標                                                                                                                                  |                              |             |                        |
| ＜授業のテーマ＞                                                                                                                                      |                              |             |                        |
| 本科目は「教科及び教職に関する科目」のうち基礎理論分野に属する科目で、子どもの発達に関する基礎的な知識を修得し、発達障害をはじめとする様々な障害による特別の支援ならびに障害はないが特別の教育的ニーズを要する幼児、児童及び生徒について学び、特別なニーズ教育の仕組みを体系的に理解する。 |                              |             |                        |
| ＜到達目標＞                                                                                                                                        |                              |             |                        |
| ・ 発達障害をはじめとする様々な子どもの障害の特性について説明できる。                                                                                                           |                              |             |                        |
| ・ 特別の支援ならびに特別の教育的ニーズを要する子どもに対し、学校や地域で組織的に対応していくための基礎的な知識を身に付ける。                                                                               |                              |             |                        |
| 授業の概要                                                                                                                                         |                              |             |                        |
| 教員免許状を取得する学生を対象に、言語・コミュニケーションの発達段階を踏まえ、特別の支援及び障害はないが特別の教育的ニーズを要する子どもたちの学習過程、心理的特性、教育的支援及び関係機関との連携について概説する。                                    |                              |             |                        |
| 授業計画                                                                                                                                          |                              |             |                        |
| 第1回：オリエンテーション（津島）                                                                                                                             |                              |             |                        |
| 第2回：通常学級に在籍する特別の支援を要する子どもたち（津島）                                                                                                               |                              |             |                        |
| 第3回：学習に関わる言語・認知の発達（津島）                                                                                                                        |                              |             |                        |
| 第4回：学習に支援を要する子どものアセスメント（津島）                                                                                                                   |                              |             |                        |
| 第5回：学習に支援を要する子どもへの特別の支援（津島）                                                                                                                   |                              |             |                        |
| 第6回：学習に支援を要する子どもの教育的ニーズ（津島）                                                                                                                   |                              |             |                        |
| 第7回：学校と関係機関との連携（津島）                                                                                                                           |                              |             |                        |
| 第8回：コミュニケーションに関わる社会性の発達（山本）                                                                                                                   |                              |             |                        |
| 第9回：社会的コミュニケーションに対するアセスメント（山本）                                                                                                                |                              |             |                        |
| 第10回：社会的コミュニケーションに関わる心理的特性（山本）                                                                                                                |                              |             |                        |
| 第11回：社会的コミュニケーションに支援を要する子どもの教育的ニーズ（山本）                                                                                                        |                              |             |                        |
| 第12回：社会的コミュニケーションに支援を要する子どもの自立活動（山本）                                                                                                          |                              |             |                        |
| 第13回：個別の指導計画と個別の教育支援計画（山本）                                                                                                                    |                              |             |                        |

第14回：特別支援教育コーディネーターの役割（山本）

第15回：まとめ（山本）

定期試験

テキスト

（津島担当回）

- ・ 柘植雅義，渡部匡隆，二宮信一（2014）「はじめての特別支援教育 教職を目指す大学生のために 改訂版」有斐閣 ISBN978-4641220386

（山本担当回）

使用しない

参考書・参考資料等

- ・ 静岡大学教育学部附属特別支援学校編著（2013）「特別支援教育のコツ 今、知りたい！ かかわる力・調整する力」ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-244-7
- ・ 新井英靖監修，佐藤まゆみ著（2014）「＜特別支援教育＞1から始める自立活動 コミュニケーション力を育てる授業づくり」明治図書出版株式会社 ISBN97-418-1246167
- ・ 湯澤美紀，湯澤正通（2013）「ワーキングメモリと特別な支援 一人ひとりの学習のニーズに応える」北大路書房 ISBN978-4762828218

学生に対する評価

受講態度・姿勢（20%），小テスト又はレポート等の課題（20%），試験（60%）で総合評価する。

小テスト又はレポート等の課題は、発達障害をはじめとする特別の支援ならびに特別の教育的ニーズを要する子どものアセスメントや指導法を理解することができているかを評価する。

|                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                    |             |                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------|-----------------------|
| 授業科目名：<br>教育課程論                                                                                                                                                                                                                                                            | 教員の免許状取得のための<br>必修科目               | 単位数：<br>2単位 | 担当教員名：<br>内田 直義・宮本 勇一 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                    |             | 担当形態：<br>オムニバス        |
| 科 目                                                                                                                                                                                                                                                                        | 教育の基礎的理解に関する科目                     |             |                       |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                                                                                                                                                      | ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） |             |                       |
| 授業のテーマ及び到達目標                                                                                                                                                                                                                                                               |                                    |             |                       |
| 本授業では、学校の教育計画である教育課程について、教員採用試験も念頭におきながら基本的な見方・考え方と実際の学校現場における実践を学ぶ。本授業の到達目標は以下の3点である。すなわち、1. 各々が専門とする教科教育等の教育課程の知識の前提として、教育課程に関する基本的な用語や概念を修得する、2. 制度、歴史、国際比較等の観点から現状の日本の教育課程に対する見方を一歩深め、教育課程に関する応用的な知識を修得する、3. 将来、教職に就いて学校現場等で働くことを見据え、教育課程に対する受講者なりの考えと実践のイメージを持てる、である。 |                                    |             |                       |
| 授業の概要                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                    |             |                       |
| 授業では、最初に教育課程をめぐる基本的な見方・考え方について、関連する理論に着目して理解する。その上で、中盤は『学習指導要領』が変遷する過程を追いながら、各時代に目指された教育課程のあり方を、当時の社会状況や人々の問題意識を踏まえながら知る。そして授業後半では、現代の日本や世界で、どのような教育課程の実践が行われているかを、具体的な事例に即してみていく。                                                                                         |                                    |             |                       |
| 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                    |             |                       |
| 第1回：オリエンテーションと参考図書紹介(内田)                                                                                                                                                                                                                                                   |                                    |             |                       |
| 第2回：教育課程の理論① 教育目的と目標-タイラー原理を手がかりに-(宮本)                                                                                                                                                                                                                                     |                                    |             |                       |
| 第3回：教育課程の理論② カリキュラムの類型-教科カリキュラムと経験カリキュラム-(宮本)                                                                                                                                                                                                                              |                                    |             |                       |
| 第4回：教育課程の理論③ 教育と発達-学習のレディネス-(宮本)                                                                                                                                                                                                                                           |                                    |             |                       |
| 第5回：教育課程の理論④ カリキュラムの批判的アプローチ-隠れたカリキュラム-(宮本)                                                                                                                                                                                                                                |                                    |             |                       |
| 第6回：学習指導要領の変遷と社会的背景① 1940年代～1960年代-戦後新教育から教育内容の高度化まで-(宮本)                                                                                                                                                                                                                  |                                    |             |                       |
| 第7回：学習指導要領の変遷と社会的背景② 1970年代～1990年代-ゆとり教育と学力論争-(宮本)                                                                                                                                                                                                                         |                                    |             |                       |
| 第8回：学習指導要領の変遷と社会的背景③ 2000年代～現在-現代の学習指導要領の特質-(宮本)                                                                                                                                                                                                                           |                                    |             |                       |
| 第9回：教育課程における評価① 学力観と学力試験・国際学力調査(内田)                                                                                                                                                                                                                                        |                                    |             |                       |
| 第10回：教育課程における評価② 学力を測るさまざまな評価方法(内田)                                                                                                                                                                                                                                        |                                    |             |                       |

第11回：制度としての教育課程① 教育課程を制度化する意義と論点(内田)

第12回：制度としての教育課程② 教科書制度の国際比較(内田)

第13回：現代の教育課程編成① カリキュラム・マネジメントの意義と重要性 (内田)

第14回：現代の教育課程編成② カリキュラム評価(内田)

第15回：授業の振り返り(内田)

テキスト

指定しない。適宜必要な資料を配布する。なお、各回スライドに対応した授業プリントを配布するが、データは授業前に LMS(WebClass)上にアップロードし、必要に応じて各自でダウンロードすることとする。

参考書・参考資料等

『中学校学習指導要領』（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）と『高等学校学習指導要領』（平成 30 年 3 月告示 文部科学省）、および各学習指導要領の解説。田中耕治編著(2018)『よくわかる教育課程第 2 版』ミネルヴァ書房。水原克敏ほか(2018)『新訂 学習指導要領は国民形成の設計書 その能力観と人間像の歴史的変遷』東北大学出版会。

学生に対する評価

- ・授業への主体的参加(30%) 観点：課題の提出状況/ グループワーク等への参加状況
- ・授業課題の取り組み(30%) 観点：課題の出題意図の適切な理解/ 基本的な用語と概念の理解
- ・期末レポート(40%) 観点：体裁と日本語の正しさ/ 内容の論理性/ 応用的な内容への取り組み/ 課題に対する独自の考察

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                         |             |                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------|------------------------------------------|
| 授業科目名：<br>総合的な学習の時間の<br>指導法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 教員の免許状取得のための<br>必修科目                    | 単位数：<br>1単位 | 担当教員名：<br>長田 健一・門原 眞佐子<br>担当形態：<br>オムニバス |
| 科 目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等<br>に関する科目 |             |                                          |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 総合的な学習（探究）の時間の指導法                       |             |                                          |
| 授業のテーマ及び到達目標<br><br>本授業は、中学校並びに高等学校の「総合的な学習(探究)の時間」について、その目標や基本的な学習過程を理解し、具体的な指導計画を構想するための基礎的な力を身につけることをテーマとしている。<br><br>到達目標は次の3点である。①「総合的な学習(探究)の時間」とはどのような学習であるかを理解し、目標・内容等、指導計画を構想・作成できるようになる。②指導計画の事例を通じ、その構成や作成のための基本的な考え方が分かる。③学習指導や評価の方法が分かる。                                                                                         |                                         |             |                                          |
| 授業の概要<br><br>本授業は、①「総合的な学習(探究)の時間」の目標・内容や指導計画、学習指導・評価等に関する講義、及び事例の検討、②グループによる指導計画の作成・発表の2つのパートから構成される。                                                                                                                                                                                                                                        |                                         |             |                                          |
| 授業計画<br><br>第1回：「総合的な学習（探究）の時間」とは何か？ ～学習指導要領における意義・目標と学びの特徴～（門原）<br><br>第2回：全体計画・年間指導計画の策定 ～各学校で定める目標・内容の考え方～（門原）<br><br>第3回：単元計画の策定 ～「主体的・対話的で深い学び」の概念と探究的な学習の過程・指導のあり方～（門原）<br><br>第4回：探究的な学習における評価の方法・留意点（長田）<br><br>第5回：事例の検討（長田）<br><br>第6回：指導計画の発表①（第1群グループ発表）（長田）<br><br>第7回：指導計画の発表②（第2群グループ発表），総括（学習の振り返り・まとめ）（長田）<br><br>定期試験は行わない。 |                                         |             |                                          |
| テキスト<br><br>・文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』東山書房，2018年<br><br>・文部科学省『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総合的な探究の時間編』学校図書，2019年                                                                                                                                                                                                                       |                                         |             |                                          |

|                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------|
| ・文部科学省『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）』アイフィス，2022年                  |
| 参考書・参考資料等<br>・原田恵理子・森山賢一編著『基礎基本シリーズ⑤ 最新 総合的な学習（探究）の時間』大学教育出版，2021年 |
| 学生に対する評価<br>指導計画の発表（20%），単元計画の提出（50%），その他課題・提出物（30%）               |

|                                                                                                                                                                                                                                                       |                                     |             |                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------|----------------|
| 授業科目名：<br>特別活動の指導法                                                                                                                                                                                                                                    | 教員の免許状取得のための<br>必修科目                | 単位数：<br>2単位 | 担当教員名：<br>小野 大 |
|                                                                                                                                                                                                                                                       |                                     |             | 担当形態：<br>単独    |
| 科 目                                                                                                                                                                                                                                                   | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 |             |                |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                                                                                                                                 | ・ 特別活動の指導法                          |             |                |
| 授業のテーマ及び到達目標                                                                                                                                                                                                                                          |                                     |             |                |
| ・ 授業のテーマ                                                                                                                                                                                                                                              |                                     |             |                |
| 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して資質・能力を育むことのできる特別活動の理論と指導法について学ぶ。                                                                                                                                  |                                     |             |                |
| ・ 到達目標                                                                                                                                                                                                                                                |                                     |             |                |
| ① 学習指導要領における特別活動の意義と目標、内容、役割、評価、改善について適切に説明することができる。                                                                                                                                                                                                  |                                     |             |                |
| ② 各教科との関連や家庭・地域住民・関係機関との連携を図りながら、自主的・実践的な集団活動を行う特別活動の特質と実践について、適切な知識・理解に基づいて説明することができる。                                                                                                                                                               |                                     |             |                |
| 授業の概要                                                                                                                                                                                                                                                 |                                     |             |                |
| 特別活動は、児童生徒が学校における様々な集団の一員としての学校生活を送る中で、社会性や社会的実践力の育成を狙いとする教育活動である。本講座では、学校において教師と児童生徒、児童生徒相互の信頼関係や好ましい人間関係、自主性等を育んでいくには、どのようなことが必要なのかということ、また各教科や地域との連携を図った特別活動の理論と実践の往還を、講義及びグループ学習、授業実践等を通して、指導や支援の視点、指導法について学び、教育の現場に立つ指導者としての基本的な知識・実践的指導力を身につける。 |                                     |             |                |
| 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                  |                                     |             |                |
| 第1回：特別活動の構造と特徴                                                                                                                                                                                                                                        |                                     |             |                |
| 第2回：特別活動の目標および主な内容                                                                                                                                                                                                                                    |                                     |             |                |
| 第3回：教育課程のいちづけと各教科等との関連                                                                                                                                                                                                                                |                                     |             |                |
| 第4回：教育課程と特別活動の指導の関わり                                                                                                                                                                                                                                  |                                     |             |                |
| 第5回：学級活動・ホームルーム活動の特質                                                                                                                                                                                                                                  |                                     |             |                |
| 第6回：学級活動・ホームルーム活動の実践                                                                                                                                                                                                                                  |                                     |             |                |
| 第7回：児童会活動・生徒会活動の特質                                                                                                                                                                                                                                    |                                     |             |                |
| 第8回：児童会活動・生徒会活動の実践                                                                                                                                                                                                                                    |                                     |             |                |

第9回：クラブ活動の特質と実践

第10回：学校行事の特質

第11回：学校行事の実践

第12回：特別活動の評価・改善活動

第13回：家庭・地域社会や関係機関との連携

第14回：特別活動の国際比較

第15回：学習指導要領とコアカリキュラム

定期試験：あり

テキスト：汐見稔幸・奈須正裕 監修 『アクティベート教育学11 特別活動の理論と実践』

ミネルヴァ書房、2020年ISBN 978-4-623-08538-5 （2,000円＋税）

参考書・参考資料等

中学校学習指導要領解説 特別活動編（平成29年3月告示、文部科学省）

高等学校学習指導要領解説 特別活動編（平成30年告示、文部科学省）

学生に対する評価

・課題レポートなど 50%、 ・定期試験 50%

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                      |             |                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------------|-----------------------------------------|
| 授業科目名：<br>教育方法論                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 教員の免許状取得のための<br>必修科目 | 単位数：<br>2単位 | 担当教員名：<br>内田 直義・宮本 勇一<br>担当形態：<br>オムニバス |
| 科 目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 教育の基礎的理解に関する科目       |             |                                         |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ・教育の方法及び技術           |             |                                         |
| 授業のテーマ及び到達目標<br>本授業では、教育の方法、すなわち教室や授業、学習の形態、評価の基準、教材の活用などについて、教員採用試験も念頭におきながら基本的な見方・考え方と実際の学校現場における実践を学ぶ。本授業の到達目標は以下の3点である。すなわち、1. 工学や心理学等の知見を踏まえて教育方法の基本的な用語や概念を修得する、2. 教育に関する歴史や哲学、国際比較等の観点を踏まえて今日の日本の教育方法に対する見方を一歩深め、教育方法に関する応用的な知識を修得する、3. 将来、教職に就いて学校現場等で働くことを見据え、教育方法に対する受講者なりの考えと実践のイメージを持てる、である。                                                                                                                                                                                                |                      |             |                                         |
| 授業の概要<br>授業では、最初に教育方法論をめぐる基本的な見方・考え方について、主に理論的な側面に着目して理解する。中盤以降は、歴史的・理論的背景を踏まえながら、授業の内外で実際に活用されている教育の諸技術について、学校建築や授業、教材の形態や活用法、授業の評価といった具体的なことがらに焦点をあてて知識を身につける。なお、授業においては、講義で扱う学習指導の知識と関連が深い技術の実践や指導案作成を受講者自身が行うことで、実践的に教育方法について学ぶ。                                                                                                                                                                                                                                                                    |                      |             |                                         |
| 授業計画<br>第1回：オリエンテーションと参考図書紹介(内田)<br>第2回：教育方法の基本原理① 知識と学習・学力をめぐる論点(宮本)<br>第3回：教育方法の基本原理② 学習意欲と動機づけ支援・学ぶ意欲を高める(宮本)<br>第4回：教育方法の基本原理③ 学習指導の基本原理・アクティブ・ラーニングを例として(宮本)<br>第5回：本時の技術① 授業における指導技術・授業を成り立たせる諸要素(内田)<br>第6回：本時の技術② 個別指導と集団指導・学校建築の変容に着目して(内田)<br>第7回：本時の技術③ 授業を実施する教材・教科書の機能に着目して(内田)<br>第8回：本時の技術④ 情報教育とICT・教育における情報化の展開(内田)<br>第9回：本時の技術⑤ デジタル教材の利用・今日の学校でのICTの活用法(内田)<br>第10回：本時の技術⑥ メディア・リテラシーの育成・思考力とリテラシーの接点と指導方法(内田)<br>第11回：評価の技術① 教育評価・教育評価の5W1H(宮本)<br>第12回：評価の技術② 授業研究・授業研究の理論と実践(宮本) |                      |             |                                         |

第13回：教育方法の現代問題①: 生活指導論 -共に助け合う学級づくり-(宮本)

第14回：教育方法の現代問題②: 主体的、対話的、深い学び -探求学習に焦点をあてて-(宮本)

第15回：授業の振り返り(内田)

テキスト

指定しない。適宜必要な資料を配布する。なお、各回スライドに対応した授業プリントを配布するが、データは授業前にLMS(WebClass)上にアップロードし、必要に応じて各自でダウンロードすることとする。

参考書・参考資料等

『中学校学習指導要領』（平成29年3月告示 文部科学省）と『高等学校学習指導要領』（平成30年3月告示 文部科学省）、および各学習指導要領の解説。樋口直宏編著(2019)『MINERVA はじめて学ぶ教職11 教育の方法と技術』ミネルヴァ書房。日本教育方法学会編(2014)『教育方法学研究ハンドブック』学文社。

学生に対する評価

- ・授業への主体的参加(30%) 観点：課題の提出状況/ グループワーク等への参加状況
- ・授業課題の取り組み(30%) 観点：課題の出題意図の適切な理解/ 基本的な用語と概念の理解
- ・期末レポート(40%) 観点：体裁と日本語の正しさ/ 内容の論理性/ 応用的な内容への取り組み/ 課題に対する独自の考察

|                                                                                                                                                                                                                                              |                                     |              |                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------|-----------------|
| 授業科目名：ICT活用の<br>理論と方法                                                                                                                                                                                                                        | 教員の免許状取得のための<br>必修科目                | 単位数：<br>1 単位 | 担当教員名：<br>延堂 雅弘 |
|                                                                                                                                                                                                                                              |                                     |              | 担当形態：<br>単独     |
| 科 目                                                                                                                                                                                                                                          | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 |              |                 |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                                                                                                                        | ・ 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法              |              |                 |
| <p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>教育現場における I C T（情報通信技術）の活用について、その歴史的経緯、現状、今後の方向性を理解し、体験を通してながら教職としてのキャリア形成に位置付けさせる。</p>                                                                                                                                |                                     |              |                 |
| <p>授業の概要</p> <p>教育現場における I C T活用の意義や理論について理解させ、I C Tを活用した学習活動や校務の実際と今後の在り方についてイメージを持たせる。</p>                                                                                                                                                 |                                     |              |                 |
| <p>授業計画</p> <p>第1回：世の中の動きと「令和の日本型学校教育」</p> <p>第2回：主体的・対話的で深い学びと情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための指導法</p> <p>第3回：I C Tの進化と外部機関との連携</p> <p>第4回：GIGAスクール構想の実際と基礎的な指導法</p> <p>第5回：情報モラル、情報セキュリティとプログラミング教育</p> <p>第6回：校務の情報化と教育DX</p> <p>第7回：教材作成とまとめ</p> |                                     |              |                 |
| <p>テキスト</p> <p>なし</p>                                                                                                                                                                                                                        |                                     |              |                 |
| <p>参考書・参考資料等</p> <p>授業中に適宜資料を提示する。</p>                                                                                                                                                                                                       |                                     |              |                 |
| <p>学生に対する評価</p> <p>毎回の授業の最後に提出するレポート</p>                                                                                                                                                                                                     |                                     |              |                 |

|                                                                                                                                                                         |  |                                        |  |             |  |                     |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------|--|-------------|--|---------------------|--|
| 授業科目名：<br>生徒・進路指導論                                                                                                                                                      |  | 教員の免許状取得のための<br>必修科目                   |  | 単位数：<br>2単位 |  | 担当教員名：<br>原（寺澤） 奈津子 |  |
|                                                                                                                                                                         |  |                                        |  |             |  | 担当形態：<br>単独         |  |
| 科 目                                                                                                                                                                     |  | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目    |  |             |  |                     |  |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                                                   |  | ・ 生徒指導の理論及び方法<br>・ 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 |  |             |  |                     |  |
| 授業のテーマ及び到達目標 生徒指導および進路指導・キャリア教育の意義・目的についての理解を深める。自己指導能力の育成や主体的なキャリア選択という視点に立った援助の原理・方法を学習するとともに、学校内外の組織的体制に必要な知識・技能や素養を身に付けることを目標とする。                                   |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 授業の概要 生徒指導および進路指導・キャリア教育の原理、及び、生徒指導上の諸課題（いじめ・暴力行為・不登校など）について理解を深め、適切な生徒指導のあり方について考察する。さらに、児童生徒が自らのキャリアを主体的に選択・決定できるような進路指導のあり方について習得する。                                 |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 授業計画                                                                                                                                                                    |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第1回： 生徒指導とは                                                                                                                                                             |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第2回： 生徒指導の体制                                                                                                                                                            |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第3回： 児童・生徒理解と生徒指導                                                                                                                                                       |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第4回： 児童生徒全体への指導①学級経営と生徒指導                                                                                                                                               |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第5回： 児童生徒全体への指導②日々の生徒指導の在り方                                                                                                                                             |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第6回： 個別の課題を抱える児童への指導①現状の理解 1 反社会的行動を中心に一グループ発表                                                                                                                          |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第7回： 個別の課題を抱える児童への指導②現状の理解 2 非社会的行動を中心に一グループ発表                                                                                                                          |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第8回： 暴力行為・いじめへの対応                                                                                                                                                       |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第9回： 不登校への対応                                                                                                                                                            |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第10回： 今日的な課題への対応                                                                                                                                                        |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第11回： 進路指導・キャリア教育とは                                                                                                                                                     |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第12回： ガイダンスとしての進路指導・キャリア教育①全体計画                                                                                                                                         |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第13回： ガイダンスとしての進路指導・キャリア教育②職場体験活動                                                                                                                                       |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第14回： カウンセリングとしての進路指導・キャリア教育                                                                                                                                            |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 第15回： ガイダンスとしての進路指導・キャリア教育の模擬授業とまとめ                                                                                                                                     |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 定期試験                                                                                                                                                                    |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| テキスト                                                                                                                                                                    |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 文部科学省『生徒指導提要』 <a href="https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20221206-mxt_jidou02-000024699-001.pdf</a> |  |                                        |  |             |  |                     |  |
| 参考書・参考資料等                                                                                                                                                               |  |                                        |  |             |  |                     |  |

|                                          |
|------------------------------------------|
| 授業中に適宜紹介する。                              |
| 学生に対する評価                                 |
| ① 個人レポート（30％），② グループレポート（10％），③ テスト（60％） |

|                                                                                                                                                                                                                                    |  |                                     |  |             |  |                  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------|--|-------------|--|------------------|--|
| 授業科目名：<br>教育相談                                                                                                                                                                                                                     |  | 教員の免許状取得のための<br>必修科目                |  | 単位数：<br>2単位 |  | 担当教員名：<br>石原 みちる |  |
|                                                                                                                                                                                                                                    |  |                                     |  |             |  | 担当形態：<br>単独      |  |
| 科 目                                                                                                                                                                                                                                |  | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 |  |             |  |                  |  |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等                                                                                                                                                                                                              |  | ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 |  |             |  |                  |  |
| 授業のテーマ及び到達目標 教育相談は、児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかける活動であり、学習指導と並んで学校教育において重要な意義を持つ。学校教育における教育相談の意義と課題、位置づけに関する基本的な考え方を理解し、心理学の視点で個人と集団を見立てる力、児童・保護者を支援する力、予防・開発的な対応力、チーム学校としての多職種連携について、基本的な知識と技能を修得することを目標とする。      |  |                                     |  |             |  |                  |  |
| 授業の概要 教員として学校教育相談に携わるために必要な教育相談の意義と位置づけを理解する。児童生徒の発達に即して、個人と集団を理解し、問題状況を見立てるために必要な心理学の視点とスキルを身に付ける。支援を必要とする児童生徒を早期発見し、見立てを修正しながら児童生徒・保護者を支援するカウンセリングの基礎的なスキルを身に付ける。児童生徒の発達に即した予防的な教育相談の力を身に付ける。チーム学校における多職種連携について、基本的な知識とスキルを修得する。 |  |                                     |  |             |  |                  |  |
| 授業計画                                                                                                                                                                                                                               |  |                                     |  |             |  |                  |  |
| 第1回：                                                                                                                                                                                                                               |  | 導入 教育相談とは                           |  |             |  |                  |  |
| 第2回：                                                                                                                                                                                                                               |  | 教育相談の基本的な考え方と意義                     |  |             |  |                  |  |
| 第3回：                                                                                                                                                                                                                               |  | 児童生徒の心の発達と心理支援が必要な時                 |  |             |  |                  |  |
| 第4回：                                                                                                                                                                                                                               |  | 教育相談と生徒指導                           |  |             |  |                  |  |
| 第5回：                                                                                                                                                                                                                               |  | カウンセリングの基礎的理論とスキル① 受容・共感 傾聴         |  |             |  |                  |  |
| 第6回：                                                                                                                                                                                                                               |  | カウンセリングの基礎的理論とスキル② 受容・共感 質問 明確化     |  |             |  |                  |  |
| 第7回：                                                                                                                                                                                                                               |  | 発達特性への気づき、見立てと支援                    |  |             |  |                  |  |
| 第8回：                                                                                                                                                                                                                               |  | 不登校への理解、見立てと支援                      |  |             |  |                  |  |
| 第9回：                                                                                                                                                                                                                               |  | 学級集団の理解と人間関係のトラブルへの対応               |  |             |  |                  |  |
| 第10回：                                                                                                                                                                                                                              |  | 発達支持的教育相談・教育相談の計画                   |  |             |  |                  |  |
| 第11回：                                                                                                                                                                                                                              |  | 発達支持的教育相談・心理教育                      |  |             |  |                  |  |
| 第12回：                                                                                                                                                                                                                              |  | 保護者への理解と対応                          |  |             |  |                  |  |
| 第13回：                                                                                                                                                                                                                              |  | チーム学校における校内多職種連携                    |  |             |  |                  |  |
| 第14回：                                                                                                                                                                                                                              |  | チーム学校における外部機関との連携                   |  |             |  |                  |  |

|                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第15回：      まとめ   テスト                                                                                                                                                                                                                     |
| テキスト   指定しない                                                                                                                                                                                                                             |
| 参考書・参考資料等<br>「生徒指導提要」   文部科学省   2022   東洋館出版社      ISBN-10 : 4491051755<br><a href="https://www.mext.go.jp/content/20230220-mxt_jidou01-000024699-201-1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230220-mxt_jidou01-000024699-201-1.pdf</a> |
| 学生に対する評価<br>①   毎回の課題（50%） ,   ②テスト（50%）                                                                                                                                                                                                 |

## シラバス：教職実践演習

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |            |             |   |                           |   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------|---|---------------------------|---|
| 教職実践演習（中・高）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |            | 単位数：2単位     |   | 担当教員名：<br>渡邊 言美、原(寺澤) 奈津子 |   |
| 科 目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 教育実践に関する科目 |             |   |                           |   |
| 履修時期                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 4年次後期      | 履修履歴の把握(※1) | ○ | 学校現場の意見聴取(※2)             | ○ |
| 受講者数 21人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |             |   |                           |   |
| 教員の連携・協力体制<br>保育・教職支援課の企画監（元小学校・中学校校長）に3時間分の授業をお願いしている。模擬授業にあたっては、人文科学部各学科の教員及び各学科の教科教育法担当教員に出席を依頼して、質問・講評や授業評価を行っていただいている。コンプライアンス授業では岡山県教育委員から外部講師を招聘している。第2-5回の学校見学に当たっては市内公立中学校に終日見学を実施し、校長に講話をお願いしている。                                                                                                                                                                                                                                    |            |             |   |                           |   |
| 授業のテーマ及び到達目標<br>本科目は中学校・高等学校普通1種免許状取得のための科目であり、「教職に関する科目」の4年次必修科目にあたる。人文科学部表現文化学科・実践英語学科・総合歴史学科各学生が合同で受講する。<br>将来教員になるうえで、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、その定着を図ることを目標とする。<br>より具体的には①使命感や責任感, 教育的愛情②社会性や対人関係力③生徒理解や学級経営④教科内容の指導力について確認する。就実大学ディプロマ・ポリシーのうち、「3. 専門的知識や技能を修得し、地域や国際社会で活躍することができる」の部分に対応し、学び続ける教員となるため、大学4年間で学んだ知識と、教育実習等で得られた教科指導力や生徒指導力の実践力との更なる統合を目指す。将来教員になるうえで、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能などを補い、定着させる。 |            |             |   |                           |   |
| 授業の概要<br>使命感や責任感に裏打ちされた確かな実践的指導力を有する教員としての資質の構築とその確認を行う。各回でグループ討論、ロールプレイ、事例研究を取り入れる。第2-5回の学校見学や、第10-13回の模擬授業等、実際の教育現場を想定した教育課題を取り扱う。第6, 8, 9, 14回ではゲスト講師3名に依頼し、教員のコンプライアンス、学級・学校経営、求められる教員像について、学校現場の状況をふまえて講義や演習を実施していただく。ICT活用について概説する。                                                                                                                                                                                                      |            |             |   |                           |   |

## 授業計画

第1回：オリエンテーション（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第2回：中学校見学 校長講話（渡邊言美・原(寺澤)奈津子・中学校長）

第3回：中学校見学 授業見学・給食体験（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第4回：中学校見学 授業見学・授業展開の課題の把握（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第5回：中学校見学 授業見学・授業展開の課題の把握・まとめ（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第6回：教員に求められる使命感や責任感・教育的愛情（ゲスト講師 元小学校長）（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第7回：生徒理解の方法についての事例研究（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第8回：学級・学校経営についての演習（ゲスト講師 元中学校長（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第9回：学級・学校経営についての講義（ゲスト講師 元中学校長（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第10回：授業設計と模擬授業—模擬授業①（ICT活用含む）中学道徳（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第11回：授業設計と模擬授業—模擬授業②（ICT活用含む）中・高国語（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第12回：授業設計と模擬授業—模擬授業③（ICT活用含む）中・高英語（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第13回：授業設計と模擬授業—模擬授業④（ICT活用含む）中・高社会科・地歴（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第14回：教員のコンプライアンス（ゲスト講師 県教委）（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

第15回：総括（渡邊言美・原(寺澤)奈津子）

## テキスト

使用しない。

## 参考書・参考資料等

青木秀雄(2017)『教職実践演習—磨きあい高めあう熱意ある教師に一』第2版、明星大学出版部

## 学生に対する評価

受講態度（20％）および提出課題（30％）、討論（20％）、模擬授業（30％）

- ※1 履修カルテを作成し、これを踏まえた指導を行う体制が備えられていることを確認し、「○」と記載すること。
- ※2 授業計画の立案にあたって教育委員会や学校現場の意見を聞いた場合には「○」と記載すること。そうでない場合は空欄とせず、「×」とすること。